

渥美半島 大地と海の恵み 34

農政課 ☎23-3517

世界へはばたく田原市産農産物!

近年、アジア諸国では安全でおいしく食べられる日本食がブームになっており、日本食レストランが増加しています。それに伴って現地スーパーなどに日本産の農産物や加工品が多く並ぶようになってきました。国の成長戦略では、農産物および食品の輸出額を2019年中に1兆円とする目標を掲げています。本市も農産物の海外販路拡大に向け、J Aや近隣自治体と連携し、経済成長の著しいアジア地域において農産物のPRに取り組んでいます。

◆香港への農産物輸出の取り組み

平成19年から豊橋市、J A愛知みなみ、J A豊橋と連携し、香港への農産物の輸出に取り組んでいます。近年は、本市と豊橋市の共通の品目であるミニトマトの販路拡大に向けたPRを続けています。香港で生野菜を食べる習慣が広がりつつあることも後押しし、現地のスーパーの店頭で田原市産のミニトマトが並ぶようになりました。

また、取り組み開始時からPRしていたメロンも、現地のスーパーの店頭で毎年並ぶようになりました。



●香港のスーパーでPR

◆農産物輸出の今後の方向

本市で生産されている農産物の全てが海外で受け入れられているわけではありません。現地バイヤーの意見を参考に、消費者ニーズを取り入れ、輸出に見合う品目の絞り込みが必要であると考えています。今年度はバイヤー招聘の際に高評価を得たイチジクについて香港への輸送試験を実施しました。実際の取引引きにつながるよう、引き続き検証を続けていきます。

また、野菜と果物だけでなく農業産出額日本一を誇る花きについても引き続き海外販路拡大に取り組んでいきます。

今後、人口増加や経済成長が見込まれる国々への販路の拡大は本市として極めて重要です。これまでの取り組みを通じて、徐々にではありますが田原市産の農産物が海外の市場に流通し始めています。しかし、輸送の問題や、販売価格など課題も残されています。今後も海外への販路拡大に取り組んでいきます。



●田原市産の農産物を見る海外バイヤー

今月の花

1月の

渥美半島の花と鉢花

リシアンサス

(花／出荷時期:10月～6月)

花ことば

優美、希望

トルコギキョウとも呼ばれ、和洋・冠婚葬祭問わず人気。県内1位の生産量で、約143万本出荷されています。



ラナンキュラス

(鉢花／出荷時期:11月～3月)

鉢

花ことば

華やかな魅力

幾重にも重なった花びらが美しく、花束やブーケに使われています。本市では、約8万5千鉢出荷されています。

